



溝口できれいなまちづくり推進イベント開催!

クリーンアクションかわさき



川崎市市制100周年記念事業

開催日 **11月10日(日)**



クリーンアクションかわさき



第1部 ごみ拾い&交流

楽しみながら清掃活動(ごみ拾い)を体験できます。参加者同士で交流しながら、脱炭素モデル地区※の溝口周辺を清掃します。かわさきSDGsパートナー等からの協賛品や、環境アプリ「Green Carb0n Club」のポイントももらえます。

※脱炭素モデル地区では、脱炭素化に資する身近な取組や先進的な取組を集中的に実施し、取組の効果や利便性を実感してもらうことで、市民一人ひとりの環境配慮型のライフスタイルへの行動変容を促進し、脱炭素社会の実現を目指しています。

- 日時 令和6年11月10日(日) ● 9:00~10:30 ● 8:40~9:00受付 ● 雨天時縮小
- 集合場所 武蔵溝ノ口駅南北自由通路
- 定員 市内在住・在勤・在学の100人(先着申込順) ● 小学生以下は保護者と参加
- 費用等 無料 清掃用具は貸し出します。

リサイクルして作られたペットボトル飲料やボールペン、石けん、飴など参加賞もたくさん!



参加申込みはこちら!

ごみ拾い・交流

9:00~10:30

10月15日から先着申込順



- 協賛: 株式会社灰吹屋薬局 株式会社パイロットコーポレーション 株式会社福田商店 特定非営利活動法人 川崎市民石けんプラント(順不同)
- 協力: Green Carb0n Club

第2部 市長との車座集会

ポイ捨てのない、きれいなまちづくりを目指して、地域の皆さんと市長が意見交換を行います。手話通訳あり。当日の様子は動画でライブ配信します。

- 日時 令和6年11月10日(日) ● 11:00~13:00
- 集合場所 市立高津高校
- 定員 傍聴のみ 20人(先着申込順)

傍聴申込みはこちら!

市長との車座集会への傍聴参加

11:00~13:00

10月15日から先着申込順



川崎市内の清掃活動チームをご紹介します

さまざまな場所で清掃活動が積極的に行われている川崎市。まちをきれいにするだけでなく、つながりの場にもなっている清掃活動に、気軽に参加してみたいはいかがでしょうか?



このほか、市内統一美化活動、多摩川美化活動、グリーンバード武蔵小杉・新百合ヶ丘・専修大学、等々力緑地清掃活動、新百合ヶ丘駅周辺クリーンアップ大作戦 など



クリーンアクションかわさき 座談会!



“清掃活動 × SDGs・健康・仲間作り”をテーマに、市内で清掃活動やコミュニティ活動を行っている皆さんに、それぞれの想いを語っていただきました。こちらの6名は清掃イベント「クリーンアクションかわさき」にも参加予定。熱い想いをじっくりご覧ください。



このイベントが、まちを歩くきっかけのひとつになれば

このイベントが、まちを歩くきっかけのひとつになれば。実際に私たちが川崎市立の学校給食のストロー撤廃のひんがしプロジェクトを推進している。このイベントが、まちを歩くきっかけのひとつになれば。実際に私たちが川崎市立の学校給食のストロー撤廃のひんがしプロジェクトを推進している。

今井：私は学校給食のストローを無くしたいという思いがきっかけでスタートした「麻生区SDGs推進隊」(現・カワサキSDGs推進隊)という団体に所属しています。小学校の授業でウミガメがプラスチックを食べている映像を見て「給食のストローを無くしたい」と先生に提案したんです。でも思いが伝わらなくて、そのことを両親に相談したところ、「じゃあほかの学校の仲間とストローを無くすことを考えてみたら？」って提案されたことがきっかけで「麻生区SDGs推進隊」の活動が始まりました。実際に私たちの声が川崎市立の学校給食のストロー撤廃のひんがしプロジェクトを推進している。



石井：まずは、それぞれ行っている活動から教えてください。田中：自分は高津高等学校の生徒会に所属してまして、生徒会主催の「高津クリーンプロジェクト」という清掃活動を行っています。拾うごみの種類はタバコの吸い殻やお酒の空き缶が多くて、僕たちがどれだけ清掃活動しても捨てる人がいる限りごみは無くなりません。大人の方にポイ捨てをやめてもらいたいと訴えることも僕たちの活動意義になっています。



今井：ストロー撤廃の話で言うと私ひとりでは解決できなかつたことも仲間がいたことで解決できると感じました。それと同じでひとりだけごみ拾いをして

田中：色々な人と輪が作れるのも清掃活動の良いところですね。11月に行われる「クリーンアクションかわさき」でも、僕自身色々な人と関われることを楽しみにしているので、清掃活動に関心が薄い方も、ぜひ参加してみてください！

石井：私自身に関しては、「暮らしの保健室」を行う前に建物の周辺の掃除やごみ拾いをしていっているんですけど、掃除をしていると通行人の方に声をかけやすくなるんだなっていうことに気がきました。ただ単にごみを拾うだけではない清掃活動の面白さに気がきましたね。田中：僕たちも清掃活動をしていると「いつもありがとう」って声をかけてくださる方がいて、感謝の言葉をかけられると嬉しいですし、やりがいもなっています。今井：私も同じで、学校外で清掃活動をした時に「ありがとう」と言ってもらえることがよくありました。



「ごみを拾う」というより「ごみを捨てる人を減らす」ことを目指して

西：ごみ拾いって結構長い距離を歩くと思うんですけど、歩くこと自体が健康にいいですよ。そしてもうひとつは、人とのつながりができるという点ですね。人と人とのつながりってとても大事で、いま国を挙げて孤立・孤独対策をしているところなんです。ごみ拾いをする中でちょっとしたつながりができたりだとか、「このまちにはこんなに面白いものがあるんだ」と

越水：清掃活動をしていく中でのエピソードを伺いたのですが、今井さんは何かございますか？今井：麻生区にはグリーンパートナー新百合ヶ丘というお掃除チームがあって、SDGs推進隊のメンバーも時々参加しているのですが、「新百合ヶ丘は意外とごみがないね」という感想なんです。それで、途中からごみにポイントを付けながらごみ拾いをしていくと「宝探しだ！」って子どもたちの目の色が変わるんです。そうやってゲーム感覚でまちをきれいにしていけば、ごみ拾いに参加する人がもっと増えるんじゃないかなって思います。

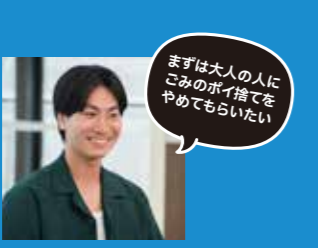


今井：学校だと単純にごみを減らすというワードだけを先生から言われると思うんですけど、体験価値って絶対大きくて、ごみ拾いで出来たコミュニケーションが、きっとその人の財産になっていきますよね。西：それがまちを大切にすることにつながるとは思います。田中：僕も自然と高まるのかなと思います。

越水：僕はいつも冗談半分で「一生懸命お掃除しないでください」と言っているんですけど、それは今おふたりがおっしゃったコミュニケーションの意味と、宝探しの意味を含んでいるんですけど、ごみを拾うよりもごみを捨てる人を減らすことが大事だと思っているので、人とコミュニケーションをとりながら楽しくごみ拾いをしてほしいです。今井：子どもたちにとってごみ拾いは宝探し



石井 麗子
一般社団法人プラスケア コミュニティナース
医療者とお茶を飲みながら気軽に身体不安やモヤモヤについて話せる「暮らしの保健室」を運営



田中 悠太
まるっとサステナcampインターン/高津クリーンプロジェクト
高津高校の生徒会が行っている地域のごみ拾いプロジェクト「高津クリーンプロジェクト=TCP」の中心メンバー



今井 結菜
カワサキSDGs推進隊/神奈川県アントレプレナーチャレンジ 県知事賞(最優秀賞)受賞
2023年「かわさき企業家オーディション」で5つの賞を受賞。父である今井雄也氏とともに「SDGs推進隊」を立ち上げ

もなかなかごみは減らないけど、人がたくさん集まることで大きな変化が生まれると思うので、ぜひたくさんの方に参加していただきたいです。石井：あまりまちに出ない方や、自分のまちをよく知らないという方にも、ぜひ参加してほしいですね。このイベントがまちを歩くきっかけのひとつになるといいなと思いますし、まちの新しい発見や面白いものが見つかるのではないかなって思います。



西 智弘
一般社団法人プラスケア代表理事/川崎市立井田病院腫瘍内科医師
医師をしながら、まちの中で医療者と参加者が気軽に触れ合える「暮らしの保健室」(中原区、高津区)を運営



越水 隆裕
クラットおそーじ同盟主催/賃貸物件キャムタテモノシリーズ 管理運営
2023年10月に団体を立ち上げ、高津区を中心に毎月第1日曜日に清掃活動を行っている



今井 雄也
カワサキSDGs推進隊運営/一般社団法人サステナブルマップ 代表理事
小中学生を対象に「カワサキSDGs推進隊」を結成し、麻生区を中心にSDGsについて学ぶ活動を展開中

ということにも、つながるんじゃないでしょうか。子ども頃からごみ拾いに参加して、まちと自分とはつながっているんだ、という心を育むと、自然と自分のまちを汚さないようにしようという気持ちも育つていくんじゃないかなと思います。越水：まちをきれいにすることも大事だけれど、人とコミュニケーションをとることもやまちを良くしようという気持ち自体が「ごみ拾い活動の価値」なんじゃないかなって思います。